

デーリー東北

2021年(令和3年)3月22日(月曜日) (13)



「はっち」2階のガラス面に種差海岸の風景を描く
八戸工業大の学生

種差海岸の風景感じて

八工大生「はっち」ガラスに描く

八戸

八戸工業大感性デザイン
学部の女子学生3人が、八
戸市の「はっち」2階のガ
ラスに種差海岸の風景を描
進めている。

く取り組みを始めた。訪れ
た観光客や市民に、同市の
名勝・種差海岸の魅力を発
信するのが大きな狙い。4
月の完成を目指し、作業を
る。

同館2階には、種差海岸
の観光展示ブースが設けら
れており、展示物更新の一
環として、同大の学生に自
由に景色や植物を描いても
らうことに。学生側にとつ
ては市中心街でまちなぎ
わい創出活動に参画でき
る一方、はっち側は、若い感
性を同館の活性化に生かし
たい思いがある。

作業するのは、いずれも
同学部創生デザイン学科1
年の佐藤理子さん(19)と佐
藤亜衣子さん(19)、工藤果
歩さん(19)の3人。今月中
旬から、2階のガラス面に
クレヨンを使って種差海岸
の波打ち際などの様子を描
いている。

3人は「種差海岸は八戸
が誇る場所。多くの人に
感動を与えられる作品を
作りたい」と意気込んでい
る。

(須田山裕太)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。